

実務経歴証明書記入例 (㊦: インターンシップ等に関する場合)

第一号の三書式 (第1条の5関係) (A4)

申請者が、平成21年度以降に大学院に入学した場合の例

実務経歴証明書

令和〇〇年 〇〇月 〇〇日

国土交通大臣
中央指定登録機関 殿
公益社団法人日本建築士会連合会

〇〇大学大学院 〇〇研究科長

証明者 登録 太郎

住所・所在地 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地

電話番号 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

担当 〇〇大学大学院〇〇研究科 免許一郎

免許申請者との関係 申請者が所属する研究科
の研究科長

下記の者が申請した一級建築士免許申請書に添付された実務経歴書は、事実と相違のないことを証明します。

記

1. 免許申請者氏名 建築 士郎

2. 建築実務経験

建築実務経験期間の合計: 2 年 0 月

建築実務の内容:

- ・ 〇〇建築設計事務所における建築設計に関するインターンシップを行い、インターンシップ及びインターンシップ関連科目の修得により大学院が定める所定の単位数 32 単位を取得。

備考

- 1 この実務経歴証明書は、実務経歴書毎に作成すること。
- 2 使用者その他これに準ずる者が実務経歴書の内容が事実相違ないことを確認したことを証明すること。
- 3 虚偽の証明を行った場合、証明者は、建築士法上の処分や告発の対象となり得ます。

第一号の三書式 (第1条の5関係) (A4)

申請者が、平成20年度以前に大学院に入学した場合の例

実務経歴証明書

令和〇〇年 〇〇月 〇〇日

国土交通大臣
中央指定登録機関 殿
公益社団法人日本建築士会連合会

〇〇大学大学院 〇〇研究科長

証明者 登録 太郎

住所・所在地 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地

電話番号 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

担当 〇〇大学大学院〇〇研究科 免許一郎

免許申請者との関係 申請者が所属する研究科
の研究科長

下記の者が申請した一級建築士免許申請書に添付された実務経歴書は、事実と相違のないことを証明します。

記

1. 免許申請者氏名 建築 士郎

2. 建築実務経験

建築実務経験期間の合計: 2 年 0 月

建築実務の内容:

- ・ 大学院の修士課程において、織豊系城下町の町割りの仕組み等について、史料や関連論文を整理し、5つの城下町の実例調査を踏まえ、特性を見出す研究を行った。

備考

- 1 この実務経歴証明書は、実務経歴書毎に作成すること。
- 2 使用者その他これに準ずる者が実務経歴書の内容が事実相違ないことを確認したことを証明すること。
- 3 虚偽の証明を行った場合、証明者は、建築士法上の処分や告発の対象となり得ます。